

第6章 知的財産部門の活動

はじめに

知的財産部門長 本 間 高 弘

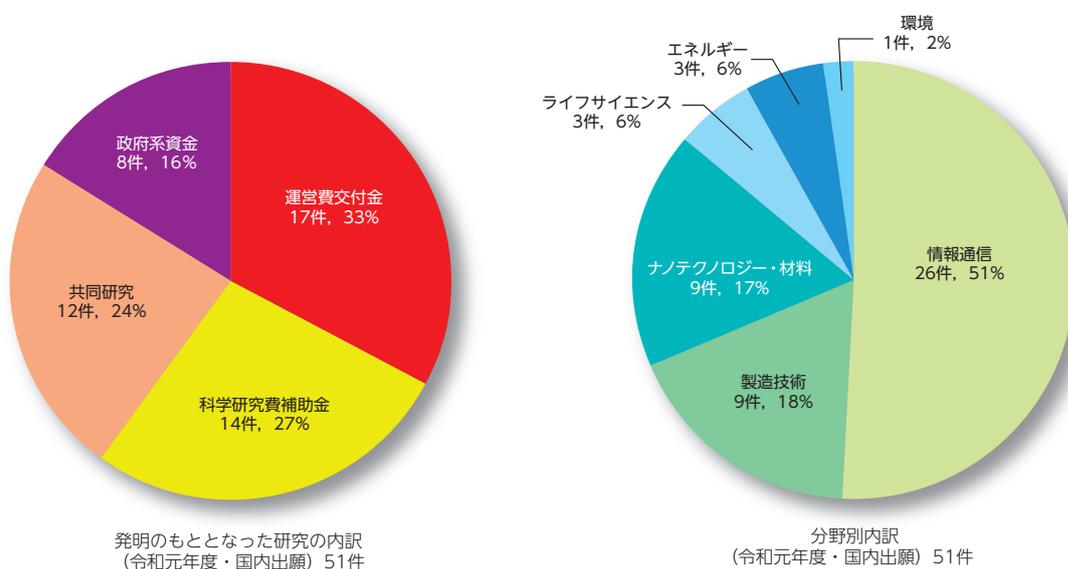
知的財産部門では、大学で生み出される研究成果を社会に還元するため、大学TLOと連携しながら、知的財産の承継と権利化、企業へのライセンス等による活用を図っております。こうした活動を支障なく推進するため、関連規則類の整備や各種契約書（共同研究・受託研究・特許共同出願契約書のひな型）の見直しも適宜実施しております。

また、学内の教員や学生向けの知的財産セミナー、知的財産権の授業、学外の知財関係者向けの知財シンポジウム等を通して、知財への啓発活動や情報発信を積極的に行っております。

平成15年に知的財産本部が設置されて以来、知的財産の保護、活用を担うための体制整備とその運営を行ってまいりました。最近の傾向として、本学の主要な研究分野の一つである情報系の知財の活用が盛んになってきています。今後とも学内、学外の皆様方のご要望に沿った支援ができるよう、更なる努力を重ねる所存です。

6-1 知的財産活動

令和元年度の知的財産部門では、発明の届出は53件、そのうち48件を承継しました。また、本学の特色である著作物も9件を承継し、成果有体物の届出は7件ありました。国内出願の発明のもととなりました研究及び分野別の内訳は以下のとおりです。



本年度までの発明届出・出願件数（国内および外国特許出願、特許登録件数の推移を含む）、特許登録件数、特許権・著作権の実施許諾、および譲渡件数・収入の推移は付録のデータ集（Ⅲ.特許統計データ）に記載しました。

6-2 産学官連携 DAY

■産学官連携 DAY (知財フェア)

【日 時】 令和元年6月19日 (水) 13:00~16:30

【会 場】 電気通信大学 東6号館2階ホール

【開催概要】

本年度で第15回目を迎える産学官連携DAYにおいて、知的財産部門は今回4回目となる「知財フェア」を出展しました。

【展示内容】

- ◇ 本学知財活動とイチ押し特許情報を集約したポスター掲示
- ◇ 本学保有特許と公開済み発明を一件一葉にまとめたシーズ集の配布
- ◇ イチ押し特許のスライドショー公開 (公開件数: 14件)
- ◇ 知財デモンストレーション: 「食事認識アプリ、カロリー表示アプリ、スタイル変換アプリ」(柳井教授)、「SmartHair (特許登録済)」(野嶋准教授)
- ◇ 産学連携事例紹介 (「ChiCaRo」(阿部研究員)、「楽くび」(梶本准教授)「omoideアプリ」(高橋(弘)准教授))

今回の知財フェアでは、昨年度の内容に追加して、新たに本学発知財2件のデモンストレーションを行いました。

1件目のSmartHairは野嶋研究室の特許技術であり、形状記憶合金を使ったアクチュエーターで、光や音などに反応して任意の方向に動作するものです。今回は手をかざすことで、複数のスマートヘアーを動作させる構成を取りました。技術内容が分かりやすいものであるためか、多数の来場者にデモを行ってもらうことができました。

2件目の食事認識アプリ、カロリー表示アプリ、スタイル変換アプリは、タブレット端末上で動作するもので、様々な食事の写真を用意し、それを来場者にタブレット端末のカメラで撮影してもらいました。こちらも精度が高く、また、動作も高速であることから、普段の食事の際に利用したい等の意見が出るほど好評でした。



産学官連携 DAY (知財フェア) の様子

6-3 教員向け個別説明

■『大学における知的財産』～成功するための留意点と活用事例～

【概要等】

昨年度同様、本学着任からそれほど時間の経っていない教員に対して、新規発明・共同研究等に関する相談を受けた際に知財に関する説明を行いました。

次年度以降も適宜個別説明を行い、更なる知財の活用を促進します。

【対象者】

- ・本学着任から5年以内の教員の一部、初めて知財の届出等を行った教員

【説明内容】

- ・特許・著作権に関する基礎知識
- ・学内手続き、提出書類に関する説明
- ・知財活用を図る上での留意点
- ・本学の知財に対する考え
- ・本学の活用事例など

【実績】

氏名	職名	所属	訪問日	担当
守 裕也	准教授	機械知能システム学専攻	4月24日	村松、本間
稲葉 通将	准教授	人口知能先端研究センター	5月29日	村松、本間
平田 修造	助教	基盤理工学専攻	7月16日	村松
塚本 貴広	助教	基盤理工学専攻	11月29日	村松

6-4 業界研究セミナー・大学シーズ説明会

■令和元年度 業界研究セミナー【知的財産業界】

OB・OGと語る知財のセカイ

【日 時】 令和元年11月24日(日) 14:15～17:00

【会 場】 電気通信大学 UECアライアンスセンター

第1部：2階 ミーティングルーム

第2部：1階 100周年記念ホール

【主 催】 電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門

【共 催】 学生支援センター就職支援室、双乃会(※)

(※) 双乃会とは、電通大を卒業後、知的財産業界(特許庁、企業知財部門、特許事務所)の職種につく本学OB/OGで構成される知財に特化したネットワーク(会員約350名)であり、昭和54年に発足して今年で41年目を迎えます。

【参加対象者】

令和3年度卒業予定の学部3年生、修士1年生

(就職活動期にない情報収集を目的とした学生、知財に興味を持っている学生も受け入れました)

【プログラム】

1. <第1部> 14:15～15:15 「知って得する知財業界と資格」
特許庁・企業知財・特許事務所の職種別内容と資格についてOB・OGがレクチャー
2. <第2部> 15:25～17:00 交流会「先輩から知財の現場の生の声を聴こう!」
官公庁、IT通信、自動車、製造、医薬品など各種大手メーカーOB・OGが多数参加

■大学シーズ説明会

【日 時】 令和元年11月24日(日) 15:00～15:15

2019年度 業界研究セミナー【知的財産業界】

OB・OGと語る 知財のセカイ

服装自由 電通大生限定 HPで申込み

Patent Copyright
Trademark Design

11/24(日)
14:15-17:00
UECアライアンス
センター2Fミーティング

<第1部> 14:15-15:15
知って得する知財業界と資格
特許庁・企業知財・特許事務所職種別内容
と資格についてOB・OGがレクチャー
<第2部> 15:25-17:00 交流会
先輩から知財の現場の生の声を聴こう!
官公庁、IT通信、自動車、製造、医薬品など
各種大手メーカーOB・OGが多数参加

電通大 知的財産 双乃会
<http://www.jp.uec.ac.jp/>

主催 双乃会
学生支援センター知的財産部門
共催 学生支援センター就職支援室

連絡先 E-mail: seminar@jp.uec.ac.jp
TEL: 042-443-5838

【会 場】電気通信大学 UECアライアンスセンター 1階 100周年記念ホール

【対象者】双乃会会員

【紹介シーズ】以下シーズを担当知的財産マネージャーが説明

- 1) 床に直立する空中像、小泉直也 助教、特願2019-040938「空中像形成装置」
- 2) チップレスRFIDタグ、和田光司 教授、特願2016-105497「共振器、ノッチフィルタ、及びRFIDタグ」

【開催概要】

今年度は業界研究セミナーの開催と並行して、新たな取り組みとなる「大学シーズ説明会」を双乃会総会にて開催しました。就職セミナー第1部は双乃会の協力を得て2Fで「業界研究セミナー」を開催しました。第2部は、業界研究セミナーに参加した学生が双乃会の交流会に合流して、OB/OGから業界の生の声を聴きました。学生の参加は学部生3名（うち女性2名）、大学院生7名（うち女性1名）で、「就職活動の参考になった」、「今後もこのようなセミナーを開催して欲しい」との声が多く寄せられました。

大学シーズ説明会では、知的財産マネージャーが2件のシーズについて説明し、双乃会の交流会で技術内容についての質疑応答や実用化についてディスカッションを行いました。知財活用のチャンネルを拡大するために、今後もOB/OGの人脈を活用していくことを再認識しました。

<運営体制>

- | | | |
|---------|--------|----------------------|
| ①開催責任者 | 本間 高弘 | (産学官連携センター 知的財産部門) |
| ②共催担当者 | 小林 智之 | (学生課 就職支援担当) |
| ③運営スタッフ | 村松 宏祥 | (産学官連携センター 知的財産部門) |
| | 金子 七三雄 | (産学官連携センター 知的財産部門) |
| | 飛田 虎之介 | (研究戦略統括室) |
| | 関口 通江 | (研究戦略統括室) |
| | 倉澤 沙桐 | (産学官連携センター 知的財産部門) |
| | 山口 佳世 | (産学官連携センター 知的財産部門) |
| ④開催協力者 | 今野 綾 | (学術国際部 研究推進課 産学官連携係) |
| | 東城 和子 | (学術国際部 研究推進課) |

6-5 知的財産教育

◇令和元年度 知的財産権に関する授業

平成18年度より知的財産の授業を知的財産部門が担当し、カリキュラム、講師を変更し、学部3年生を主な対象として、前期には知的財産権関係の基本を学習する「知的財産権概論」を、また後期には実際の活用を中心とした「知的財産権管理」を設けました。

その後、平成20年度より大学院において、知的財産権全般についてさらに専門の内容を加味した「知的財産権特論」の授業を開始しました。また、平成23年度よりスーパー連携大学院でも「知的財産権特論」の講座を設け、スーパー連携大学院に参加している他大学の大学院生もオンラインで「知的財産権特論」を受講可能としました。本講座は、本学授業の担当講師の他に、専門の外部の弁護士、弁理士にも担当して頂きました。

平成25年度からは情報理工学部先端工学基礎課程にて、知的財産に技術者倫理の内容を加え、新たに「技術者倫理と知的財産」の授業を開始しています。

また、平成29年度より3年間、一般財団法人日本レコード協会寄附講座「情報化社会におけるクリエイティブビジ

ネスと著作権」の初回講義で「情報化社会における著作権」を担当しています。

【講座内容】

- ◇ 「技術者倫理と知的財産」 情報理工学域 先端工学基礎課程 前学期・2単位
(講師：本間高弘、他)
- ◇ 「知的財産権」 情報理工学域 実践教育科目 後学期・2単位 (講師：本間高弘、吉松勇、他)
- ◇ 「知的財産権特論」 大学院情報理工学研究科 大学院実践教育科目 後学期・2単位
(講師：本間高弘、他)
- ◇ 「知的財産権特論」 スーパー連携大学院 (講師：本間高弘、他)
- ◇ 「情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権」
(一般財団法人日本レコード協会寄附講座)
情報理工学域 学域特別講義B 後学期・2単位 【第1回】 情報化社会における著作権



一般社団法人日本レコード協会寄附講座 授業風景